



令和8年8月3日

統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

令和8年8月2日(日)午後9時頃、海上自衛隊は、対馬(長崎県)の北東約50 k mの海域において、同海域を南西進する中国海軍レンハイ級ミサイル駆逐艦(艦番号「103」)、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(艦番号「124」)及びフチ級補給艦(艦番号「903」)の計3隻を確認した。

その後、2日(日)から3日(月)にかけて、これらの艦艇が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、7月16日(木)から27日(月)にかけて、ロシア海軍艦艇とともに、以下のとおり航行したものと同一である。

- ① 16日(木)、沖縄本島と宮古島(沖縄県)の間の海域を南進
- ② 19日(日)、沖ノ鳥島(東京都)の南西の海域を北東進
- ③ 21日(火)、南硫黄島(東京都)の南東の海域を北東進後、硫黄島(東京都)の東の海域を北進
- ④ 23日(木)、犬吠埼(千葉県)の南東及び北西の海域を北東進
- ⑤ 25日(土)、納沙布岬(北海道)の南東の海域を北東進
- ⑥ 27日(月)、宗谷海峡を西進

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊の第3哨戒防備隊所属「しらたか」(佐世保)及び第4航空群「P-1」(厚木)により、警戒監視・情報収集を行った。

レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「103」）



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「124」）



フチ級補給艦（艦番号「903」）



行 動 概 要

